

氏名	金さやか	部署	看護学科	職名	助教
研究分野	慢性看護、リハビリテーション看護、心理学、眼科看護				
学位	修士（看護学）				
学歴	慶應義塾大学看護医療学部看護学科卒業 埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科看護学専修修了				
経歴	2014年東京工科大学助手、2015年埼玉県立大学助教				
所属学会（役職）	日本健康医学会、日本公衆衛生学会、日本看護科学学会、日本看護学教育学会、日本視機能看護学会、日本リハビリテーション連携科学学会、日本リハビリテーション看護学会、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会				

【2023年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌 雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	多重課題場面における看護学生の視覚情報と思考の特徴－看護師との視線分析の比較－	共著	日本看護学教育学会 第33回 学術集会（福岡市）	○會田 みゆき, 常盤 文枝, 山岸 直子, <u>金さやか</u> , 東口 晴菜	2023.8	
2	ナルコレプシー患者の診断までの期間（若年層と高齢層）	共同	日本睡眠学会第45回定期学術集会・第30回日本時間生物学学会学術大会（横浜市）	○ <u>金さやか</u> , 加藤 千恵子, 大塚 佳臣, 根岸 貴子	2023.9	
3	新型コロナウイルス流行による受療行動への影響	単独	第39回日本視機能看護学会学術集会（福岡市）	○ <u>金さやか</u>	2023.11	
4	Cognitive function and its association with frailty after the cessation of senior citizen classes for the elderly in the community in Japan	共同	3rd Edition of International Public Health Conference (Singapore)	○Takako Negishi, <u>Sayaka Kon</u> , Aki Kawamura	2024.3	
5	How do Japanese Outpatient Day Long-Term Care workers perceive independence support care?	共同	3rd Edition of International Public Health Conference (Singapore)	○ <u>Sayaka Kon</u> , Kyoko Usukura, Fumie Tokiwa, Toyo Kikumoto, Yuji Koike, Takayuki Komuro, Meiko Watanabe, Mitsuru Sato	2024.3	
6	Assessment of Resilience in Patients with Narcolepsy	共同	3rd Edition of International Public Health Conference (Singapore)	○ <u>Sayaka Kon</u> , Chieko Kato, Yoshiomi Otsuka, Takako Negishi	2024.3	
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間		
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）	視線分析を用いた多重課題における臨床推論力を高める教育プログラムの開発	分担者	2020.4～2024.3		

2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金 (基盤研究C)	生きづらさからの回復を支える-ナルコレプシー患者のための看護支援モデルの開発-	代表者	2021.4～2025.3
3	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金 (基盤研究C)	通所介護における社会的自立を促進する自立支援型機能訓練マネジメントモデルの構築	分担者	2021.4～2024.3

3. 教育業績

(1) 講義

	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	成人看護学V		4	関節リウマチ、視覚障害者の看護をテーマに講義した。関節リウマチ患者のインタビュー動画を作成し、授業に活用した。また、視覚障害者団体・同行援護事業所の協力のもと、視覚障害者の実情を知らせるためのオリジナルの動画を作成し、授業で使用した。
2	リハビリテーション看護	○	3	障害や慢性病とともに生きる人々を支える看護をテーマに授業を展開した。視覚障害へのリハビリテーションにおいては、視覚障害者に役立つアプリケーションの活用についても提案した。生活行為マネジメントの学習を通して、地域リハビリテーションについても考察できる授業を展開した。

(2) 演習

	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	成人看護学V		5	臨床現場で実際に使用する医療機器を使用し、医療機器を使用する目的や方法、留意点をわかりやすく説明した。心不全患者の観察を学ぶためシミュレーション演習を活用した。
2	臨床実践看護		14	技術演習では、患者への安全・安楽な技術の取得ができるよう、基本的な手技の指導に加え、確認行動、患者への声掛けなどを指導した。複数患者を受け持つことを想定した行動計画立案の方法については優先順位の考え方について具体的に説明した。

(3) 実習

	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	成人看護学実習Ⅰ		2023.5～2023.6	シミュレーション教育を活用した周術期看護の指導を担当した。
2	成人看護学実習Ⅱ		2023.5～2023.6	入院患者の受け持ち実習を指導した。
3	総合実習		2023.7	入院患者の受け持ち実習を指導した。各学生の学習課題に基づいた学習ができるようフォローアップした。
4	IPW実習		2023.1	オンライン実習にて多職種連携による援助について学べるよう指導を行った。

(4) 論文指導

	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2023.4～2023.12	主指導 2	副指導 名

(5) その他

	名称	期間	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	該当なし		

4. 社会貢献活動

(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師

	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	通所介護事業所における心身機能回復から社会参加に至るまでの戦略的自立支援ケア研修	埼玉県	通所介護事業所における自立支援ケアの質向上を目指す	2023.12.6

(2) 国、自治体、学術団体等における委員等			
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期
1	該当なし		
(4) その他			
	項目	相手方等	内容
1	該当なし		
5. 学内運営			
	項目	内容	
1	学生支援	就職支援プロジェクト「教えて！先生のキャリア」への協力	
2	学科等における委員会等	看護学科卒業研究運営	
3	学生支援	1年生担任	
4	全学的委員会及びセンター業務等	動物実験倫理審査委員	
			2023.12
			2023.4~12
			2023.4~2024.3
			2023.4~2024.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	第33回日本看護教育学会学術集会優秀演題賞（示説）	日本看護教育学会	2023.8
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		